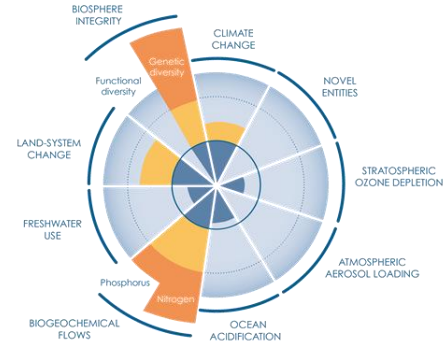


<ロレアル リサーチ&イノベーション企画>
革新の『グリーンサイエンス』
持続可能な美しき未来のために。L'ORÉAL FOR THE FUTURE
～第一章：ロレアルの決意～

仏・ロレアルでは、気候変動や生物多様性など、世界が直面する切実な課題をグローバル規模で考察。サステナブルな世界の実現を目指し掲げた“L'ORÉAL FOR THE FUTURE”（ロレアル・フォー・ザ・フューチャー）プログラムの下、社会、環境、そして消費者へのコミットメントなど、さまざまな活動に取り組んでいます。これは、ストックホルム・レジリエンス・センターの、地球環境システムの科学者グループによって 2009 年に提唱された「地球の限界（プラネタリー・バウンダリー）」の概念を基に、ビジネス全体の変革を担うものです。その中で、ロレアルの研究開発部門であるR&I（リサーチ&イノベーション）は、独自のフィロソフィー「**グリーンサイエンス**」が、世界を動かす美の原動力となることを目指しています。すべては、自然とサイエンスの持続可能な調和によって育まれる「美しい未来」のために。



地球の限界（プラネタリー・バウンダリー）

グループ全体でのコミットメントを受け、今回から、ロレアル リサーチ & イノベーションでは、グリーンサイエンスに関連する画期的でかつ真摯な取り組みについて紐解き、サステナビリティレターとして紹介してまいります。

人と環境にもっと優しく。新たな価値観を生み出す「グリーンサイエンス」とは？

プラネタリー・バウンダリーと向き合い、2020年にスタートしたプロジェクト「ロレアル・フォー・ザ・フューチャー」実現の鍵を握るのが、「**グリーンサイエンス**」です。

環境を考慮し、最新の農学知識を取り入れてバイオマス生産を行う「グリーン栽培」。環境に負荷をかけないグリーンケミストリーやバイオテクノロジーを駆使して原料や成分の開発を行う「グリーントランスフォーメーション」。「グリーン栽培」や「グリーントランスフォーメーション」によって得られた原料や成分を組み合わせ、高機能な製品を開発する「グリーン処方」。これらの集大成である「**グリーンサイエンス**」こそが環境への負荷を低減し、機能の優れた製品を生み出す原動力となるのです。

「グリーンサイエンス」によって、プログラムをバックアップするのがロレアルの研究開発部門 Research & Innovation（リサーチ & イノベーション）です。フランスをはじめ、日本や米国など世界7カ国、約4,000人の研究員が国際的なネットワークを通して、未来へと引き継がれる「サステナビリティ」の推進に大きく貢献しています。

日本における研究開発は1983年にスタートし、戦略的なイノベーション拠点としての役割を担っています。日本の文化、歴史、社会を深く理解し、200名以上の研究員が日本およびアジアの消費者のために製品開発を行っています。



進化し続ける『グリーンサイエンス』未来へと引き継がれるロレアルのアクション

自然を敬い、人と環境に優しい循環型ビューティ実現のために、『グリーンサイエンス』の可能性は、すでに大きく開花しはじめています。ロレアルを代表する美容成分「プロキシレン」は、まさに『グリーンサイエンス』の賜物です。ほかにもバイオテクノロジーやグリーンケミストリーによって誕生した天然由来成分は数多く、成分のナチュラルネスを評価する独自のガイドライン「ナチュラルネス基準」も確立。原料の採取から製品使用後の廃棄まで、製品のライフサイクルすべてを担っているのです。

参考：ロレアル「グリーンサイエンス」コミットメント

2030年のSDGsゴールに向けてロレアルは国連で採択された17の項目のうち「飢餓ゼロ」、「インフラ整備」、「まちづくり」を除く14項目を対象にしています。そのコミットメントはじつに明快です。いくつかの例をご紹介します。

- ◆ パッケージ用プラスチックを100%リサイクルまたはバイオ由来のものに切り替える。
- ◆ 成分の95%を枯渇の恐れのないミネラルまたはバイオ由来成分へ切り替える。
- ◆ 2025年までに再生可能エネルギーを100%使用。
- ◆ 消費者の製品利用時に排出される温室効果ガスを平均25%削減。
- ◆ 生産過程で使われる水を、100%リサイクルまたは再利用に、等々。

